

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CEDEM13200		5	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	前学期	その他	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00312001	社会政策特論	2	
担当教員[ローマ字表記]			
高畑 明尚			

授業の形態

演習又は実験、実習

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

社会政策の各分野（貧困問題，労働政策，社会保障，文化政策，農業・林業政策，都市形成・地域再生など）について、最先端の文献と基礎的文献の検討および、該当する現場での調査等を行い、受講生の研究や社会人としての今後の社会生活に資するものを行う。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

①知識・理解：受講生の希望する分野での基礎的な用語や方法の習得

②思考・判断：現代社会とそこに生きる人間個々人から社会を捉える方法習得する

③関心・意欲：教室だけでなく、学外での調査も積極的に行う。

④技能・表現：文献の読み方、論文等の書き方、外部機関との交渉、現地調査でのコミュニケーションの方法等を習得する。

評価基準と評価方法

各回への出席と課題の事前検討、授業内での報告等で評価する。

履修条件

特になし。

自分の問題関心を広げておくことが望ましい。

授業計画

ここ数年の検討テキストは

北川フラム『ひらく美術－地域と人間のつながりを取り戻す』（筑摩書房，2015年）

渡部薫『文化政策と地域づくり』（日本経済評論社，2019年）

大石尚子編『食と農のソーシャル・イノベーションー持続可能な地域社会構築をめざしてー』（藤原書店，2024年）

などです。

登録者の希望に合わせてテキスト等を選択します（社会政策演習と連携します）。

以下は、授業の例です。

第1回 ガイダンス

第2回 テキストの読み方と報告の仕方

事前学習

各回で出された課題を次回までに検討しておく。

事後学習

各回の演習内容を検討すること

教科書にかかわる情報

教科書	書名	特になし			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

教科書全体備考

随時、指示します。

参考書にかかわる情報

参考書	書名	特になし			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

参考書全体備考

随時、指示します。

使用言語

日本語

メッセージ

授業時間や進め方などは、受講生と相談の上、決めます。

オフィスアワー

月曜日と火曜日の午後 2 時から 4 時まで、および水曜日の午後 2 時からが望ましいです。
それ以外の時間を希望する場合には、メール等で連絡して下さい。可能な限り応じます。

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL